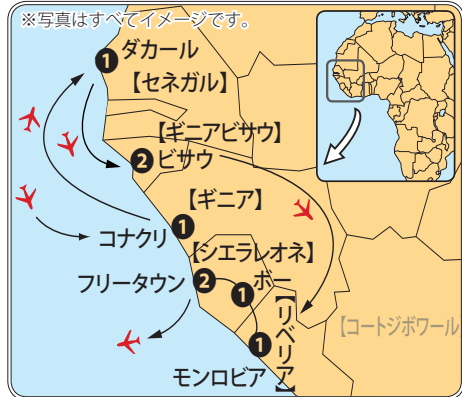


◆ギニア共和国、セネガル共和国、ギニアビサウ共和国、シエラレオネ共和国、リベリア共和国◆

西南アフリカの知られざる小国・5カ国への旅 11日間

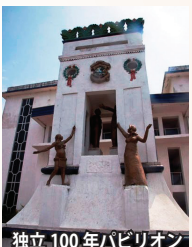
出発日限定・特別企画	
旅行期間	4月17日(木)～4月27日(日)
旅行代金	1,398,000円
一人部屋利用追加代金	149,000円

- ◎利用予定航空会社：エチオピア航空。
- ◎添乗員：成田空港より全行程同行します。
- ◎食事：朝食8回・昼食6回・夕食8回(機内食除く)
- ◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
- ◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
- ◎旅券残存期間：シエラレオネ入国時6カ月以上
- ◎旅券査証欄余白：5頁以上
- ◎査証用写真：カラー4枚(4.5X3.5cm)
- ◎英文預金残高証明書：1通※詳しくはお問い合わせ下さい。
- ◎最少催行人員：8名(最大15名)
- ◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
- ◎成田空港使用料・保安サービス料：3,160円
- ◎国際観光旅客税：1,000円
- ◎燃油サーチャージ目安：34,140円(2024年10月現在)
- ◎査証代：ギニア(82米ドル相当日本円)、ギニアビサウ(92ユーロ現地払い)、リベリア(8,000円)、シエラレオネ(85米ドル相当日本円)
※査証代は変更となる場合もあります。
- ◎査証取得代行手数料：7,150円(税込)
- ★黄熱病予防接種証明書(イエローカード)が必要。



◆リベリア共和国◆

アメリカの解放奴隷を中心に建国されたため、アフリカの中で最もアメリカとの結びつきが強い国。街の外れには巨大な要塞を思わせるアメリカ大使館があります。首都モンロビアの中心部は基盤の目のような状態で整備されています。初代大統領ロバートの像は町で最も高い丘の上に位置しており、その丘にあるホテル・デコは、かつてリベリアを代表する高級ホテルとして知られておりましたが、ホテルは内戦で完全に破壊されており、現在もそのままの状態です。この国の辿った近年の厳しい歴史を無言で物語っているかのようです。



独立100年パビリオン

★秘境の旅に関するご案内とお願い★

- ◇観光客、及び日本人が訪れることが稀な国々です。その為、出入国の審査において、時間を要する場合がございます。
- ◇場所柄、ホテルの設備は国際レベルには及ばず、簡素なものとなります。浴室はシャワーのみが基本となり、一斉にシャワーを使用すると一時的にお湯の出が悪くなります。
- ◇お客様ご自身でスーツケースをお運びいただく場合もございます。
- ◇土地柄、お一人様が二席お使いいただける大型バスはございません。
- ◇航空便のスケジュールが流動的な地域です。そのため、観光順序・内容などに変更が発生する可能性が高いコースであること、予めお含みお下さいますよう、お願い申し上げます。フライトの遅延・欠航など当社の関知しない事由により旅程を変更せざるを得ない場合や帰国が遅れた場合など、追加が必要となる費用は、旅行業約款に基づき、ご参加者の皆様にご負担いただくこととなります。予めご了承の上、お申込み下さいますよう、お願いいたします。
- ◇旅行事故緊急費用や偶然事故対応費用を含む海外旅行保険にご加入いただくことを、強くお勧めいたします。

都市名	スケジュール
1 東京	■夜、成田空港より、エチオピア航空にて、ソウル寄航、アジアペバ乗り継ぎ、アビジャン寄航、 ギニア共和国の首都コナクリ へ。〈機中泊〉 日 日 日
2 コナクリ	■夕刻、コナクリ着。 ■着後、ホテルへ。 〈コナクリ泊〉 日 日 日
3 コナクリ ダカール	■終日、 コナクリ市内観光 。国立博物館◎、カテドラル◎、グラント・モスク◎、中央駅◎、グラント・マルシェ◎、ギニアの歴史を物語るキャンプ・ボイロ◎など。 ■夜、空路、セネガルのダカールへ。 〈ダカール泊〉 日 日 日
4 ダカール (ゴレ島) ビサウ	■午前、ダカールの市内観光。カテドラル◎、大統領官邸◎、鉄道駅◎など。その後、船で 世界遺産の島ゴレ島 の観光。奴隷の家◎、カテドラルなど。 ■夕刻、 ギニアビサウ共和国の首都ビサウ へ。 〈ビサウ泊〉 日 日 日
5 ビサウ滞在 (キニャーメウ)	■午前、ビサウ郊外の小村 キニャーメウ を訪問。サトウキビから造る地酒工房◎を訪れます。 ■午後、 ビサウ市内観光 。国立博物館◎、独立記念広場◎、ビサウ港◎、大統領官邸◎、カテドラル◎、ビサウ要塞◎、コロナルな雰囲気を残す旧市街◎の散策などにご案内します。 〈ビサウ泊〉 日 日 日
6 ビサウ モンロビア	■早朝、空路、アフリカ内都市乗り継ぎ、 リベリア共和国の首都モンロビア へ向かいます。 ■夕刻、着後、ホテルへ。 〈モンロビア泊〉 日 日 日
7 モンロビア ポー	■午前、 モンロビア市内観光 。国立博物館◎、独立100年パビリオン◎、ドゥコールの丘◎、マーケット◎、リベリア発祥の地プロヴィデンス島◎を訪れます。 ■午後、国境を越え、シエラレオネのポーに向かいます。〈ポー泊〉 日 日 日
8 ポー フリータウン	■午前、小さな村々が点在する美しい風景を車窓に、 シエラレオネ共和国の首都フリータウン に向かいます。 ■午後、着後、ホテルへ。 〈フリータウン泊〉 日 日 日
9 フリータウン 滞在 (バンス島)	■午前、ポートにて奴隷貿易の拠点跡が残る バンス島 ◎を訪れます。 ■午後、 フリータウン市内観光 。平和記念公園◎、マルーン教会◎、セントジョージ大聖堂◎、コットンツリー◎など。また、 チンバンジー保護区 ◎にもご案内します。 〈フリータウン泊〉 日 日 日
10 フリータウン	■午前、空路、ワゴドゥグ寄航、アジアペバ乗り継ぎ、ソウル寄航、帰国の途へ。 〈機中泊〉 日 日 日
11 東京	■夜、成田空港着。通関後、解散。

◆ギニアビサウ共和国◆

大西洋に面する小国で、北はセネガルと接し、東と南はギニアに囲まれています。ヨーロッパ列強にアフリカが分割統治された時代はポルトガル領ギニアでした。1974年ポルトガルのカエターノ独裁政権がクーデターで倒れた後、新政権はギニアビサウの独立を承認しました。1980年には同じく旧ポルトガル領のカーボベルデとの合併を試みましたが、失敗に終わりました。経済は未発達で、世界の最貧国の一つといわれます。首都ビサウの旧市街の一部には、ポルトガル統治時代の美しいコロニアル建築を見ることが出来ます。



コロニアル建築の建物 / ビサウ旧市街

◆シエラレオネ共和国◆

旧イギリス領で、かつては世界で一番寿命の短い国として注目を浴びました。シエラレオネで1991～2001年頃まで実際に起きた内戦を描いた映画「ブラッド・ダイヤモンド」で、その名前を少しは知られるようになったことになりましたが、日本人旅行者が訪れることが最も少ない国でもあります。首都はフリータウン。アフリカらしい活気に溢れた街の中心部には、町のシンボルである樹齢500年のコットン・ツリーと呼ばれる大木があります。この地に辿り着いた解放奴隷たちがこの木の下で休んでいたと言われていた町のシンボルです。



町のシンボル「コットン・ツリー」

◆ギニア共和国◆

1958年、住民投票の結果、ギニアはフランス共同体を離脱してフランスの植民地の中で最初の独立国となりました。独立後、フランスはギニアへの一切の援助を打ち切り、逆に公共施設や道路を破壊しつつ、国土台帳などの書類や公共施設の備品を全てフランス本土に持って行ってしまった話はとても有名です。世界最大級の埋蔵量といわれるボーキサイトをはじめ、金やダイヤモンドなどの鉱物資源が主な輸出品です。社会インフラの整備の遅れと政情不安が、経済成長の停滞に影響を及ぼしています。



グラント・モスク / コナクリ

治安・渡航情報 2024年10月現在、外務省よりシエラレオネ、リベリアには「レベル1：十分注意して下さい」、ギニア、ギニアビサウには「レベル2：不要不急の渡航は止めて下さい」という危険情報が発令されています。弊社といたしましては、現地手配会社と綿密に安全状況の確認を行った上、観光として訪れるには問題ないと判断し、募集させていただいております。しかしながら、急遽、情勢が悪化した場合、日程変更が余儀なくなる場合や、ツアーの実施自体を取り止める場合もあること、予めお含み下さい。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

- ◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）
- ◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な際、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様のご負担となります。

●航空機及び移動について

- ◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。又、日表の空路移動表示は出発地と最終目的地のみで示されています。
- ◇交通機関の遅延や、不通、スケジュール変更等により、目的地での滞在時間の短縮や、訪問地の変更、取り止め等が生じる場合は責任を負いかねますが、出来る限り当初の日程内容に従った旅行サービスをお客様がお受けいただけるよう努力致します。
- ◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならない場合もございます。
- ◇僻地や列車等での移動でポーターがない場所では、お客様にご協力をいただきご自身のお荷物をお運びいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

- ◇エチオピア航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュ・エアラインズ、全日空、日本航空、タイ国際航空、シンガポール航空、マレーシア航空、キャセイ・パシフィック航空。

●日程中のマークの読み方

- ◎：朝食、Ⓜ：昼食、Ⓝ：夕食、Ⓜ：機内食、Ⓜ：食事なし
- ：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

- ◇一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて、一人部屋をご利用いただけます。**但し、ご出発日の40日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限ります。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

- ◇シングルルーム（お一人部屋）をご利用の場合、ヨーロッパスタイルのホテルでは、お部屋が手狭だったり浴室の設備がシャワーのみの場合がございます。
- ◇国によっては、二人部屋のお一人での使用も承ります（別途、追加料金が必要）が、地方都市や混雑状態などによりお一人部屋になることもございます。また、ホテルによっては、ダブルベッドの場合もありますので、ご了承下さい。
- ◇三名様で一室をご利用の場合は、二人部屋に簡易ベッドを一つ入れた状態をご利用いただくため、お部屋が手狭となります。また、旅行代金の割引もございません。尚、旅行中の一部のホテルで簡易ベッドをご準備できないこともございます。その場合、お一人部屋（追加料金が必要です）をご利用いただくこととなります。
- ◇お部屋のベッドは、二名一室を利用基準に、ベッドが二台のツインルームをご用意しますが、地方都市や、古いヨーロッパスタイルのホテルでは、二つのベッドマットが離れていないジャーマン・ツインタイプのお部屋もございます。
- ◇バスルーム（浴室）は、地方都市では、お湯の出が悪かったり、シャワーのみのお部屋となります。
- ◇ホテルの部屋割りは、ホテル側で前もって割当てあり、グループやご家族旅行の場合でも、隣室や同階でのお部屋をご用意できない場合もございます。又、伝統や格式あるヨーロッパのホテルでは、それなりの雰囲気や味わったばかりの反面、部屋により広さや調度品が異なったり、設備面で機能性を欠く場合もございます。

●ビジネス・クラス利用について

- ◇お席の混雑具合により料金変動いたしますので、早めのお問い合わせ・お申込みをおすすめいたします。
- ◇ビジネス・クラス席をご利用いただける区間は、原則として日本と最初の到着地の長距離フライトです。短距離フライトがエコノミー・クラスとなる場合もございます。また旅行サービス内容（バス、ホテル、食事等）は、航空座席クラスにかかわらずグループと同一となります。

屋食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスを利用し、密状態を避けます。

●個人情報の取り扱いについて

- ◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報に関しましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関係する関係諸機関へ必要な範囲内で提供させていただきます。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

- ◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

- 確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご旅行条件（要旨）ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集・実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法12条の5に定める契約書の一部となります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によります。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認下さいようお願い申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

- ◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金二名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれない物

- ◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、お一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプションツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代行料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込み際について

- ◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。コースによっては、ご参加いただけない場合がございます。
- ◇特定の目的又は、特定の旅客層を対象とした旅行については、ご参加いただけない場合もございます。
- ◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがあると当社が判断する方のお申込みはお断りすることもございます。

●旅行代金の支払い

- ◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% （限度額5万円）
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上	50,000円
	15万円以上 30万円未満	30,000円
	15万円未満	20,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

●「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。

●取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加代金について

- ◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消しされた場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります。**尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

- ◇この旅行条件は2024年10月22日を基準としております。また旅行代金は2024年10月22日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しております。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社はいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

- ◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

マラリアについて

アフリカは、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていませんが旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、寒さ、嘔、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痲痺、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がたら直ぐに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防的服用をすすめず推奨しておらず、個人的な意思に任せておられます。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取り線香やペーパーを焚くことによります。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/> にてご確認下さい。

★特殊・秘境地域に対するご理解とお願い★

当パンフレットで扱うアフリカの国々は、まさに秘境地域です。当社はこの地域を扱い始めて約二十年になり、現地手配会社とのスムーズな関係、添乗員からの報告やお客様からのアンケートなど過去の経験をもとに、より快適なご旅行となるべく努力しております。しかしながら、ヨーロッパの国々とは違い、運送期間、宿泊設備やサービスなど、あらゆる面で何かしらの問題が発生するのが実情です。皆様のご協力、助け合いなしにはツアーが成立しないこと、ご理解下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

- ◇航空便が、天候や航空会社の都合により予定通り運航しない場合もございます。その場合、日程、観光内容、宿泊地が現地に変更になること、お含みおき下さい。**約款上、日程変更に伴う追加費用、帰国が遅れた場合の延泊費用などは、ご参加者の皆様のご負担となります。予めご承知の上、お申し込み下さいますようお願い申し上げます。**